

庄原市行政評価シート

平成 29 年度評価

事務事業名		森林資源活用事業(木質ペレット等利用促進補助金)			
実施期間	平成 20 年度 ~ 平成 年度 (終期の設定のない場合は、終期を空白)	所管課	企画振興部 林業振興課		

予算科目	会計 01	款 6 農林水産業費	項 3 林業費
	目 02 林業振興費	事業 3810 森林資源活用事業	

対象者	市内に住所を有する個人、又は事業所を有する法人若しくは団体	対象者数など	平成28年度交付件数9件
根拠法令・計画等	庄原市ペレットストーブ等購入促進補助金交付要綱		
HPアドレス	http://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/industry/ringyo/cat02/post_148.html		

実施目的	ペレットストーブ、ペレットボイラー及び薪ストーブの購入者に対して、予算の範囲内で補助金を交付することにより、バイオマスエネルギーの利活用を推進し、CO2の排出抑制、地球温暖化防止対策、森林の多面的機能の向上、地域資源循環システムの構築及び木材関連事業の活性化に寄与する。
事務事業の概要	<p>1.補助要件</p> <p>(1)購入補助対象機器 ペレットストーブ、ペレットボイラー、薪ストーブ</p> <p>(2)補助金額</p> <p>①ペレットストーブ、薪ストーブ ストーブ本体購入・設置にかかる直接的費用の3分の1(上限額120,000円)</p> <p>②ペレットボイラー ボイラー本体購入・設置にかかる直接的費用の3分の1(上限額500,000円)</p>

年度別実績概要	
平成 26 年度	<ul style="list-style-type: none"> 補助金交付件数 18件 (内ペレットストーブ 3件(薪との兼用1件含む)、薪ストーブ 15件、同ペレットボイラー 0件) 補助金交付額 1,997千円(内ペレットストーブ 307千円、薪ストーブ 1,690千円)
平成 27 年度	<ul style="list-style-type: none"> 補助金申請件数 13件 (内ペレットストーブ 2件、薪ストーブ 11件、同ペレットボイラー 0件) 補助金交付額 1,452千円(内ペレットストーブ 240千円、薪ストーブ 1,212千円)
平成 28 年度	<ul style="list-style-type: none"> 補助金申請件数 9件 (内ペレットストーブ 1件、薪ストーブ 8件、同ペレットボイラー 0件) 補助金交付額 960千円(内ペレットストーブ 120千円、薪ストーブ 840千円)

実績指標 (単位:千円)

	項目	内容	H 26	H 27	H 28	合計
	事業費 (インプット)	補助金	ペレットストーブ等の購入者へ補助金交付	1,997	1,452	960
事業費						0
						0
		事業費計	1,997	1,452	960	4,409
財源		国県補助金				0
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源		1,997	1,452	960	4,409

	指標名称	単位	基準値	H 26	H 27	H 28	合計
	実績 (アウトプット)	1 申請件数	件		18	13	9
2 内ペレットストーブ申請件数		件		3	2	1	6
3 同ペレットボイラー申請件数		件		0	0	0	0
成果 (アウトカム)	1 ペレット使用量(直近3年間の補助対象者の実績)	t		9.13	6.34	3.49	19
	2 薪使用量(直近3年間の補助対象者の実績)	t		46.12	88.71	60.95	196
	3 ペレットストーブ使用(上記1)によるCO2削減量	CO2-t		12.5	8.71	4.79	26
備考							

事務事業名	森林資源活用事業(木質ペレット等利用促進補助金)	所管課	企画振興部 林業振興課
-------	--------------------------	-----	-------------

評価項目		所管課評価	市民意見	評価委員会	評価分布	
分布は、A+1,B:0,C-1で総回答数で割り、小数点以下四捨五入。ただし、A-C又はC-AがBより多い場合はA,Cに補正する					市民意見	評価委員会
優先度		C			分布	平均
A	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が高い事業である。					
B	同じ分野の他の事業と比較し、優先度は中くらいの事業である。				#DIV/0!	#DIV/0!
C	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が低い事業である。					
認知度		B			分布	平均
A	対象者以外にも、おおむねの内容は知られている事業である。					
B	対象者には、おおむねの内容は知られている事業である。				#DIV/0!	#DIV/0!
C	一部の者を除き、事業があることすら知られていない。					
有効性		C			分布	平均
A	費用に対して、効果・成果が高い事業である。					
B	費用に対して、効果・成果が中くらいの事業である。				#DIV/0!	#DIV/0!
C	費用に対して、効果・成果が低い事業である。					
受益者満足度		B			分布	平均
A	受益者(対象者)は、満足している事業内容である。					
B	どちらともいえない。				#DIV/0!	#DIV/0!
C	受益者(対象者)が、満足できない事業内容である。(改善要望がある ほか。)					
市民(納税者)納得度		B			分布	平均
A	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外も納得できる事業である。					
B	どちらともいえない。				#DIV/0!	#DIV/0!
C	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外は納得できない事業である。					
代替性		C			分布	平均
A	収益性や技術面から民間での実施が難しく、市が実施すべき事業である。					
B	民間での実施も可能であるが、公共性・公平性などから市が関与すべき事業である。				#DIV/0!	#DIV/0!
C	市の関与は委託や助成とし、民間等での実施を検討すべき又は市が関与する必要はない事業である。					
まちづくり基本条例適合性		B			分布	平均
A	市民(団体等を含む。)の自立を促進する事業である。					
B	市民の自立促進までは期待できないが、条例の趣旨(市民が主役のまちづくり)に沿った事業である。				#DIV/0!	#DIV/0!
C	条例の趣旨に沿った実施形態となるよう、手法・内容を見直すべき(終了を含む。)事業である。					
所管課評価		事業終了				
評価視点	当初は林地残材を活用してペレットを製造し、その需要拡大を図るための補助金として発足したが、平成23年度から薪ストーブの購入を補助対象に追加し、以来、補助申請の大半が薪ストーブであり、事業の理念と効果についての検証が必要である、補助金申請件数は年々低下しており、本事業の必要性について市民の意見を求める。					
所管課が課題と考える内容	<ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマス利活用プロジェクトは実質的に終了しており、ペレット製造事業に関連した本事業も一定の整理の検討が必要となっている。 補助対象の大半は薪ストーブで、環境政策の視点での有用性は認めるものの、林業振興に対する効果は薄いと考える。 補助対象のストーブ等は高額な製品が多く、一定の所得を有する市民や事業者でなくては購入できない現実がある。 					